

★：特設サイトにて音源公開中

*職位は当時のもの

年・月	カテゴリ	日	タイトル	学部	職位	担当者	音源データの有無
2008年4月	ことば、文化、認知			法学部	准教授	篠原俊吾	
		4日	①ことばと文化				○
		11日	②ヒトはどのように世界を切り分けるのか				○
		18日	③「みてる」の世界				○
		25日	④言語の型、認知の型				○
5月	五月の特集「歴史学の新たな可能性を求めて－歴史研究における機関と個人－」			文学部	准教授	浅見雅一	
		2日	①カトリック教会の史料編纂－イエズス会日本関係史料を例として－	文学部	准教授	浅見雅一	○
		9日	②歴史博物館と現代歴史学－普及と研究のはざままで－	群馬大学教育学部	准教授	藤森健太郎	○
		16日	③平安時代の国家と社会	群馬大学教育学部	准教授	藤森健太郎	○
		23日	④宮内庁書陵部の蔵書	宮内庁書陵部図書課		池和田有紀	○
	30日	⑤中世社会と宮廷音楽	宮内庁書陵部図書課		池和田有紀	○	
6月	放送授業開始50周年記念番組			通信教育部 日経ラジオ社			
	特別枠	6日	塾長と通信教育部長との対談				○
		7日	入学式における特別講演①				×
	特別枠	13日	文学部長、法学部長と通信教育部長との鼎談				○
		14日	入学式における特別講演②				×
	特別枠	20日	経済学部長、商学部長と通信教育部長との鼎談				○
		21日	福澤研究センター特別講義①				×
	特別枠	27日	学事担当常任理事、通信教育部長と慶友会の座談				○
28日		福澤研究センター特別講義②				×	
7月	フランス文化事情－フランスを見る、フランスを知る－			経済学部 成城大学文芸部	教授 教授	北村洋基 北山研二	
		4日	①パリの美術館と国家				○
		11日	②パリの橋とパリの歴史				○
		18日	③バサージュと現代消費生活				○
		25日	④フランス語の古さと新しさ				○
8月	ブッチーニ『トスカ』の人間模様			文学部	教授	白崎容子	
		1日	①「ひとりの女性のために」－カヴァラドッシとトスカ				○
		8日	②陰の人物－アッタヴァンティ侯爵夫人とその夫				○
		15日	③「ヤーゴのハンカチ」－トスカの嫉妬とスカルピア				○
		22日	④オペラの結末と都市ローマ				○
	29日	⑤幻のオペラ台本－ブッチーニとヴェリズモ				○	
9月	交通事故の重罰化と刑法理論			法学部	専任講師	佐藤拓磨	
		5日	①近時の刑事立法の動向：処罰の早期化・重罰化				×
		12日	②交通事故の重罰化立法：危険運転致死傷罪、自動車運転過失致死傷罪、道路交通法改正				×
		19日	③被害者感情vs.行為責任の原則				×
	26日	④社会統制手段としての刑罰の限界				×	
10月	ブロードウェイ・ミュージカルのアメリカ史			法学部	教授	常山菜穂子	
		3日	①アメリカを写す鏡－ブロードウェイ・ミュージカルとは				○
		10日	②発展へ－50年代まで				○
		17日	③黄金時代－50年代から60年代				○
		24日	④ロンドン・ミュージカルの興隆－70年代から80年代				○
	31日	⑤復活－90年代以降				○	
11月	日本人ブラジル移住百年を考える－近代国家と日本人移民－（前半）			文学部	教授	柳田利夫	
		7日	①近代国民国家と移民	文学部	教授	柳田利夫	×
		14日	②ブラジル社会と日本人移民Ⅰ	上智大学	教授	三田千代子	○
		21日	③ブラジル社会と日本人移民Ⅱ	上智大学	教授	三田千代子	○
	28日	④国際関係と日本人移民Ⅰ	外務省外交史料館		柳下宙子	○	
12月	日本人ブラジル移住百年を考える－近代国家と日本人移民－（後半）						
		5日	⑤国際関係と日本人移民Ⅱ	外務省外交史料館		柳下宙子	○
		12日	対談 ⑥ブラジルの日系社会	上智大学	教授	三田千代子	○
		19日	対談 ⑦日本の日系ブラジル社会	文学部	教授	柳田利夫	○
	26日	対談 ⑧日本と移民				×	
2009年1月	誰もが過ごしやすい「ユニヴァーサル社会」の創造			政策・メディア研究科	特別研究講師	西山敏樹	
		2日	①バリアフリーの考えとその成果及び限界				○
		9日	②バリアフリーからユニヴァーサルデザインへ				○
		16日	③ユニヴァーサルデザインの成果とその限界				○
		23日	④ユニヴァーサルデザイン論からユニヴァーサル社会論へ				○
	30日	⑤ユニヴァーサル社会づくりの新しい取り組みと未来展望				○	

★：特設サイトにて音源公開中

*職位は当時のもの

年・月	カテゴリ	日	タイトル	学部	職位	担当者	音源データの有無
2月	イギリスのドキュメンタリー映画			法学部	専任講師	佐藤元状	
		6日	①映画の誕生－初期映画と記録				○
		13日	②ドキュメンタリーと芸術－戦間期のイギリス映画				○
		20日	③ドキュメンタリーと物語の結婚－第二次世界大戦とイギリス映画の黄金時代				○
		27日	④テレビの時代のドキュメンタリー－戦後イギリスの映像文化				○
3月	今、スポーツをどのように捉えるか			体育研究所	准教授	村山光義	
		6日	①スポーツのなりたち				○
		13日	②体育とスポーツ				○
		20日	③身体知とは何だろうか？				○
		27日	④スポーツ文化の未来				○
慶應義塾の時間「教育講座」(月～木)			ウィーン文化を眺め歩く	法学部	教授	岩下真好	
2009年1月	20日	火	ウィーンという町				○
	21日	水	ウィーンのおペラ				○
	22日	木	バロック都市ウィーン				○
	26日	月	クリムトとフロイト				
	27日	火	ロースの建築と反装飾論				○
	28日	水	ウィーンの奇人変人たち				○
	29日	木	現代作家ベルンハルトのウィーン				○
慶應義塾の時間「教育講座」(月～木)			ニュースの社会学	文学部	教授	李光鎬	
2月	2日	月	出来事がニュースになるまで(1)－ニュース価値	法学部	教授	大石裕	○
	3日	火	出来事がニュースになるまで(2)－ニュースソース	文学部	教授	李光鎬	○
	4日	水	出来事がニュースになるまで(3)－ゲートキーピングとフレーミング	文学部	教授	李光鎬	○
	5日	木	ニュースの娯楽化－内容と形式における変化	メディア・コミュニケーション研究所	教授	萩原滋	○
	9日	月	ニュースの普及過程－ニュースはいかに広がっていくか(1)	文学部	名誉教授	青池慎一	○
	10日	火	ニュースの普及過程－ニュースはいかに広がっていくか(2)	文学部	名誉教授	青池慎一	○
	11日	水	大学生のニュース接触行動	メディア・コミュニケーション研究所	教授	萩原滋	○
	12日	木	ニュースの影響力－世論そして政治過程へ	法学部	教授	大石裕	○
慶應義塾の時間「教育講座」(月～木)			アメリカ商業音楽文化史	法学部	准教授	大和田俊之	
3月	2日	月	ミントレル・ショー黒と白の弁証法				○
	3日	火	ブルースとヒルビリー・ルーツ・ミュージックの政治学				○
	4日	水	ティンパン・アレーと都市音楽の黎明				○
	5日	木	ニュー・ジャズ・スタディーズ－ジャズ史の再構築				○
	9日	月	「若者」の誕生－R & Bとロックンロール				○
	10日	火	ソウル/ファンク・ミュージックの地政学				○
	11日	水	拡散するロック/ポップス－テクノロジー、イデオロギー、アイデンティティ				○
	12日	木	ヒップホップ/テクノ/ハウス・ミュージックとサンプリング文化				○
慶應義塾の時間「教育講座」(月～木)			現代の企業	商学部 商学部	准教授 准訪問研究員	谷口和弘 渡辺智子	
3月	16日	月	現代企業の戦略	商学部	准教授	谷口和弘	○
	17日	火	現代企業の組織	商学部	准教授	谷口和弘	○
	18日	水	現代企業のガバナンス	商学部	准訪問研究員	渡辺智子	○
	19日	木	会社法の施行と企業形態	商学部	准訪問研究員	渡辺智子	○
慶應義塾の時間「教育講座」(月～木)			「よく生きる」とはどういうことか	文学部	教授	山内志朗	
3月	23日	月	「善い」ということの多義性				○
	24日	火	善さが宿るものは何か				○
	25日	水	「私」と「善さ」				○
	26日	木	徳について				○
慶應義塾の時間「教育講座」(月～木)			慶應義塾と宝塚歌劇	経済学部	教授	杉浦章介	
3月	30日	月	小林一三の夢				○
	31日	火	レヴューと日本のモダンニズム				○